



## スケジュールミスのない人はいない

---

「私はスケジュールミス（ダブルブッキングやスケジュールが落ちていたなど）をしたことが絶対にない」という方がいたら、是非お会いしてそのノウハウをうかがいたいところです。しかし、残念ながら、ほとんどの方は一度や二度、いや人間ですからそれ以上に、スケジュールミスを起こしているのではないのでしょうか。常に完璧ということは、残念ながらないわけです。実際、私も最近、スケジュールミスを起こして、痛い目にあいました。

そんなことが減るように、皆さんと一緒にスケジュール管理と手帳の使い方について試行錯誤で学んでいければと思います。

## 「デジタル対アナログ」の章の説明

---

この章では、デジタル対アナログと題して、スケジュール管理をデジタルするのが良いのか、それともアナログが良いのか、はたまたそれらの複合が良いのか、などの問題、課題を取り扱います。

## デジタルの良さ、悪さ

---

さて、まずはデジタルから攻撃です。永年コンピュータ業界にいと、こうしたスケジュール管理や手帳の使い方となると、どうしてもデジタルにこだわりたくなるものです。

デジタルの良いところと悪いところを考えてみましょう。

### 1) 簡単に直せる

デジタル化されたスケジュールの一番良いところは、自由に編集がしやすいことです。文字だって直せるし、スケジュールを動かすのもマウスのドラッグ&ドロップです。コピーや繰り返し設定などもクリックひとつで簡単にできてしまいます。

しかし、逆に履歴が残りにくいというところはデメリットとしてあげられることがあります。

### 2) 検索できる

次の良さは、検索が出来ることです。これは紙にはなかなかない利点です。キーワードを入力すれば、瞬時に探してくれます。これはアナログにはなかなかありません。

### 3) 共有が簡単

インターネット上にスケジュールを置くことができたりしますから、簡単に共有ができます。閲覧制限もあるし、パソコンやケータイがあれば、どこからでも書き込めます。人の予定も見ることができます。

### 4) 入力が手間

人によっては「大して手間にならない」という方もいらっしゃるかもしれませんが、紙のように記入することはまだパソコンなどでは出来ませんし、PDAなど（PDAについては後述）でも紙にメモするスピードにはまだ追いつきません。

さあ、どのメリットを重視し、どのデメリットに目をつぶるか。

## アナログの良さ、悪さ

---

後攻はアナログです。アナログである紙のスケジュール表、手帳のメリット、デメリットはどうでしょうか。

### 1) 入出力が簡単で早い

明らかに紙とえんぴつ（もちろんボールペンでもOK）の方がPDAなどに入力するよりはずっと早いです。思いついたときにすぐに書ける。

### 2) ネットがなくても大丈夫

今や、どこでもネットワークに接続できる世界かもしれませんが、それでもなお、そういう環境にない場合でも、紙の手帳なら問題ありません。

### 3) 編集は面倒、検索も出来ない

デジタルデータのように編集を簡単にはできませんし、繰り返し設定なども手で全部書かなければなりません。検索も難しいですね。しかし、その面倒さが記憶をリフレッシュするという効果もあるそうです。

アナログにはアナログの良さがありますね。

## デジタルの勝ち？

---

と思うのは早計でしょう。筆者は実はアナログ派です。

他の章に書いてある筆者の変遷を経た現在の結論です。デジタル情報の扱い方が変わってくれば、もしかしたらまたデジタル側に移るかもしれませんが、今現在（2011年4月）は、アナログ派です。

しかし、これは仕事の質によって個々人、変わってくるだろうと思います。外出が少なく、ほぼ1日中、社内においてネットワーク環境とパソコン環境が揃っているような方はデジタルの方が明らかに効率的でしょう。しかし、筆者のように事務所にいることもあれば、外に出ることもある、移動中であることも多いとなると、手元にいつも置いておける紙のスケジュール表、手帳が良いと思います。

筆者がどのようなスケジュール管理の変遷を経たのかは別章で。